
けいおん！ Last Forever Radio

藍那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

けいおん！ Last Forever Radio

【Nコード】

N5365R

【作者名】

藍那

【あらすじ】

『本番10秒前！』

『9 / 8 / 7 / 6 / 5 ……』

「じくっ……」

「……いよいよ、だな」

「4'3'2'1'.....」

「LFR! 始めます!」

00『初回放送！レアだから録画するべ（殴）（前書き）』

竜雅「・・・また大先生の案のパクリ？」

藍那「またつてなんだよorz」

竜雅「どうせそれみて感化されたんだろうが・・・」

藍那「いや、流石にそれは違う。今ラジオ聞いてたから。録音したミューパラ」

竜雅「そっからかい！！」

注意

これは、ただの劣化版にしか過ぎません

・・・あくまで作者の自己満足のためにあるものです

小説で作ったキャラを出すみたいだぞ」

漣「……友達いないのかな？」

竜雅「いないと思う……」

【自己紹介始めるよ！】

竜雅「自己紹介するのかよ……」

漣「わ、私、上手く出来るかな!？」

竜雅「落ち着けよ……大丈夫、人はいないから」

漣「そっか……うん。落ち着いたよ」

竜雅「……じゃあまず俺から」

竜雅「桜ヶ丘高校2年1組の石田竜雅です。軽音部入ってます。担当はリズムギターとボーカルです」

漣「すごいまとまな自己紹介だよな……」

竜雅「俺が真面目にやっとな……」 夏樹が…… 竜覇が……

竜星が…… 大暴れorz

漣「(大変だな……) 私は、2年1組の秋山漣。同じ軽音部で、担当はベースとボーカルだ」

竜雅「……自己紹介終わっちゃったけど、どうする？」

漣「……あ、藍那さんのカンペが。えっと……好きなものと嫌いなもの？」

竜雅「好きなものは漣と軽音部の皆とギターとチヨコパンと料理です」

漣「え…… / / /」

藍那カンペ「バカップル乙(笑)」

竜雅「……あの屑作者あとで殺す」

【質問だぜちくしょうめ！】

竜雅「藍那を殺したところで…… ちくしょうめってなんだよ」

藍那↓@

漣「藍那さんが紙屑になってるな……」

竜雅「まあ、殺すつもりだったからな。で、ちくしょうめって何だ？」

漣「分からない……」

竜雅「……藍那って意味分からないな」

漣「で、質問ってなにをするんだ？」

竜雅「いつも藍那を支えてくれる親切な大先生からの温かいメッセージからの質問に答えると言うものらしいけど…… 今回は来てないから作者の弟が質問するらしい」

漣「弟って……」

竜雅「じゃあ読み上げるな？ …… / / /」

漣「どうしたんだ？」

『2人はお互いにどこが好きだったんですか！？』

2人「 / / / / /」

竜雅「……怖がりで恥ずかしがりやで繊細で優しくて可愛いところかな」

漣「えっと…… 優しくて支えてくれて人のことを第一に想うところ……」

藍那カンペ「いよっ、バカップル！」

竜雅「……殺す」

【Information!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!】

藍那「プシュー」

竜雅「……お前はもう喋るな」

漣「……何この感嘆符の多さ」

竜雅「知らない」

漣「で、情報ってなんだ？」

竜雅「えつと…… けいおん！ - If World T w o L

ove - の更新が昨日終わった程度かな？」

漣「速さだけが売りなのにね、藍那さん……」

竜雅「あれから更新が遅くなっている……」

漣「……情報終わっちゃったけど、どうするんだ？」

竜雅「終わる」

【トークするぞばかやるお!!】

竜雅「藍那絶対何かあっただろ……」

漣「でもトークって何をするんだ？」

竜雅「適当に」

漣「適当って……　そういえば、I W T Lでまだ出ていないオリジナルキャラ出ていないよな？」

竜雅「……海鈴だよな」

漣「あの男の子はいつ出てくるんだ？」

竜雅「海鈴の気まぐれだろ」

漣「そっか」

【最後！】

竜雅「最後となりましたけど、今後も自己満足のこの小説風味駄作をよろしくおねがいします」

漣「よろしくな？」

2人「では、また！！」

E D N O T H A N K Y O U !

00『初回放送！レアだから録画するべ（殴）（後書き）』

竜雅「・・・まあ藍那はごみだけど」

漣「・・・一緒に頑張ろうな」

藍那「orz」

夏樹「お前が悪い」

01『これ更新するの忘れていたよ！竜雅に殴られるよ！』（前書き）

竜雅「というわけだ」

藍那「プシュー」

竜覇「おいおい・・・」

竜星「てか、今回からゲストは誰か呼ぶんだろ？」

藍那「はい・・・では始めます」

01『これ更新するの忘れていたよ！竜雅に殴られるよ！』

竜雅「漣、あいつの肩を叩いてくれ」

漣「え、うん。(トントン)」

??「(ムクリ)」

竜雅「それじゃ」

竜雅・漣『けいおん！ Last Forever Radio！
始めます！』

OP いきものがかりより『花は桜 君は美し』

竜雅「久しぶりで申し訳ないです。I W T Lの準主人公、石田竜雅と」

漣「竜雅の彼女の秋山漣です」

竜雅「今日は、次作で登場する主人公を紹介がてら、いろいろやつちやいます！」

漣「結局ゲストを呼ぶのか？」

竜雅「駄作者がネタにつまったらしいからな」
漣「そっか」

【自己紹介始めるよ！】

竜雅「という訳で、冬香、自己紹介頑張れよ」

冬香『初めまして。僕は高橋冬香たかはし とうかと言います。次回作からは迷惑かけるけど、よろしくお願いします』

漣「何で携帯で文字打ってるんだ？」

竜雅「耳に障害があるんだ」

漣「そうなんだ・・・じゃあ私たちも携帯を・・・」

冬香『僕は貴方達が喋ったときの口の動きで何を喋ったか分かるので、大丈夫だよ』

漣「すごいな・・・」

竜雅「卓球小説では、耳が悪いという不利な状況の中、神戸大会で竜星や将輝を倒して優勝したよな」

冬香『あの時はすごい嬉しかったよ。夏樹にも勝てたし』

漣「え、竜雅はそのときどうだったんだ？」

竜雅「そのころ俺は桜ヶ丘高校に転校済みだったんだが」

漣「あ、そうだったな」

冬香『IWLの次回作での好きな物は、友達とかラーメンとか・・・

・あとスポーツ観戦。野球やソフトボールを見るのが好きなんだ』

藍那カンペ『だから姫子と・・・』

竜雅「藍那、殺すぞ」

冬香『どうしたの？』

漣「いつものことだからきすることないよ」

【質問だぜちくしょうめ！】

竜雅「とある大先生から質問が来たんだけど」

漣「本当に!？」

冬香『すごいね』

『竜雅と漣に質問です。初。。。はどこでしたんですか？』

竜雅・漣「////////////////////」

冬香『どうしたの？』

漣「あの時、竜雅が押し倒すから・・・」

竜雅「だって、漣が可愛すぎたし・・・」

竜雅・漣「////////////////////」

冬香『何となく分かった気がする・・・邪魔だったら帰ろうか？』

竜雅・漣「帰らないでええええ!!!」

【Information!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!】

冬香『感嘆符多いね・・・』

竜雅「気にしたら負けだ」

漣「久しぶりにIWT L20話更新しました!」

竜雅「遼祐や圭輔、英樹さんが出ています」

漣「圭輔か・・・」

竜雅「・・・あいつ始末してくる」

冬香『落ち着いてよ・・・』

【トークするそばかやるお!!】

竜雅「コホン」

漣「かなり取り乱したな・・・」

冬香『でも、トークって何をするの?』

竜雅「そうだな・・・冬香はIWTに誰が出てきてほしい?」

冬香『そうだなあ・・・金城や森田や田村はもちろん出てきてほしい、竜雅や夏樹も・・・あとは俊介や石井とかかな・・・』

漣「誰だ?」

竜雅「ふるはやしめんすけ古林俊介といしい ゆつひ石井勇飛っていう、卓球小説の強い奴がいるんだ」

漣「仲いいんだな」

冬香『うん、みんな優しくしてくれるから嬉しかったよ』

竜雅「卓球小説の竜覇はどうなんだろうな・・・」

【言わせて見よう!】

竜雅「要するに俺の自己満足コーナー」

冬香『なんかすごそうだね・・・』

漣「いつのまに新コーナーが・・・」

竜雅「で、駄作者。漣に何を言わせるんだ?」

漣「／／／／／／／／／／」

冬香『どうしたの漣ちゃん?』

竜雅「じゃ、どうぞ」

『竜雅・・・一緒にやろう?優しくしてね・・・?』

竜雅「・・・冬香。とりあえずお前は帰れ」

冬香・漣『「え？」』

竜雅「漣・・・もちろんやさしくするから・・・」

漣「え、ちよつと、竜雅？ あつ、あん・・・」

冬香『見てはいけないものを見た気が・・・』

【最後！】

竜雅「うん、気持ちよかった／＼／＼／＼／」

冬香『そりゃよかったね・・・』

漣「ううっ／＼／＼／／」

竜雅「じゃ、次回もお楽しみに」

漣「じゃ、じゃあな・・・／／／／」

冬香『僕・・・こんなところに出演するのか・・・』

ED H T Tより五月雨20ラブ

01『これ更新するの忘れていたよ！竜雅に殴られるよ！』（後書き）

竜星「なにやらせてんだ・・・」

竜覇「高橋さんが出てるのかよ・・・」

藍那「ニヤニヤ」

竜雅「うん・・・よかった」

梓「先輩が壊れてるよ・・・」

藍那「次回もいつになるかわかりませんが、よろしくお願いします
！」

02『対決だよ!?!あの大作家のキャラだよ!?!漫に惚気のあの男だよ!?!』

竜雅「・・・」

竜覇「先輩が黙った・・・」

藍那「始めます!」

02『対決だよ！？あの大物作家のキャラだよ！？漣に惚気のあの男だよ！？』

竜雅「・・・漣」

漣「どうしたんだ？竜雅？」

竜雅「・・・俺から離れないでいてくれるか？」

漣「え？どういうこと？」

竜雅「じゃ、始めるか」

竜雅・漣『けいおん！ Last Forever Radio！
始めます！』

OP のみこより『星風の水口スコープ』

竜雅「最近苗字が忘れられている石田竜雅と」

漣「LFで竜雅の最大のライバルと苗字が被っている秋山漣です」

竜雅「・・・忘れられるって、酷くないか？」

漣「竜雅って名前が、かつこよすぎるからだと思うな」

竜雅「・・・ありがとな」

漣「（キュン）」

??「そろそろ入って行って良いか？」

竜雅「えっと・・・zip、zipと・・・」

漣「落ち着いて・・・」

【自己紹介始めるよ！】

竜雅「じゃあ、自己紹介どうぞ」

主輔「初めまして！遠藤主輔です！」
えんどうけいすけ

竜雅「『けいおん！』・ラブコメディ・『漣の恋物語』の主
人公・・・はあ、萎えてきた」

主輔「何故に！？」

漣「主輔じゃ理解できないと思うよ・・・」

竜雅「じゃ、他になんか自己紹介を」

主輔「日曜日は唯や和と一緒に夕飯を・・・」

竜雅「・・・三股か・・・ぶっ殺す」

漣「落ち着いてえ・・・」

【質問だぜちくしょうめ！】

竜雅「他力本願の駄作者が活動報告で来たメッセージボックスから
1通。名前は匿名希望さん」

主輔「べただな・・・」

漣「えつと・・・『破竜の世界』での主輔は、どれくらい強いかつ
て言うメッセージ」

竜雅「・・・何故原作の質問が来ない」

漣「それも来てるぞ？」

竜雅「そうか」

主輔「どうなんだろうな・・・やっぱり隊長格には勝てないな。遼

祐にはいつもやられる」

漣「強いんだな、遼祐って言う奴は」

主輔「副隊長格なら一番強いと思ってるけど・・・霧明に勝ちたいよな。ヒロイン的な意味で」

漣「ヒロインって？」

竜雅「知らないでいい」

漣「じゃああと1つ『主輔は和を気になったことはないんですか？』」

主輔「うーん・・・ないかな」

竜雅「夏樹はss小説は唯ルートを懇願していたけどな」

主輔「夏樹って？」

漣・竜雅「元不良」

主輔「・・・ブルブル」

【Information!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!】

主輔「感嘆符多いな」

竜雅「気にしたら負けだ」

漣「最近の更新報告は？」

竜雅「I W T L が25話更新しました！」

主輔「おおおお」

竜雅「つてか今26話執筆中なんだが、竜覇が大変なことになる」

主輔「竜覇って？」

漣・竜雅「元不良」

主輔「・・・不良、多いよな」

【トークするぞばかやるお!!】

竜雅「主輔は武器なんだっただけ？」

主輔「魔法重視の魔法拳だぞ？」

漣「・・・なんかすごいことになりそうだな」

竜雅「どんな風に攻撃するんだ？」

主輔「えっと・・・魔法拳開放！マジックハンズレレイド L V 2 ファイラ 強火炎！」

漣「おお、すごいな。かっこいいよ」

竜雅「（イラッ）」

主輔「え・・・？竜雅・・・？」

竜雅「狂人化・・・（以下ネタばれ規制）」

【言わせて見よう！】

竜雅「メイプル畑先生から頂きました！」

主輔「酷い目にあった・・・」

漣「・・・大丈夫？」

竜雅「じゃ、早速・・・って、これ言うのか」

漣「どうした？」

竜雅『おばあちゃんが言っていた、男にはしてはいけないことが二つある。食べ物を粗末にすること、女の子を泣かせることだ!』

主輔「おお！」

漣「おばあちゃんかあ・・・」

竜雅「・・・おばあちゃんのこと思い出した（グスン）」

漣「大丈夫・・・？」

主輔「確かに。でも粗末にするのは女子でもいけないような」

漣「確かにそうだな」

藍那カンペ『I W T Lで近々竜雅が漣を泣かせることになるよー』

竜雅「・・・コロス」

主輔「待て！俺にこれ言わせてくれ！」

漣「じゃあ早速！」

主輔『藍イイイイ那クウウウン！！！！』

藍那「ギアアアアアアアアアアアアアア！！！！」

竜雅「・・・やるな」

漣「すごいや」

主輔「ありがとうな！」

藍那カンペ『でも・・・泣かすのはガチ・・・ガクッ』

全員「マジか・・・」

【最後！】

竜雅「今回はありがとうな！」

主輔「いや、俺もどう・・・」

邪醒（・・・漣とやらかしたら・・・分かってるよな？）

主輔「ブルブルorz」

竜雅「？」

漣「大丈夫かな・・・じゃ、終わります！」

E D 中津川初（中村繪里子）、神本円佳（清水愛）より『だっし
ゅどシンデレラ』

02『対決だよ！？あの大物作家のキャラだよ！？漫に惚気のあの男だよ！？』

竜星「星空へ架かる橋OPEDキターー！！！！」

竜雅「そりゃよかったな・・・」

竜覇「・・・何とか無事に終わったな」

将輝「圭輔さん、また来てください！」

夏樹「ありがとうございます！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5365r/>

けいおん！ Last Forever Radio

2011年7月1日19時21分発行